

であい
ふれあい
まなびあい

水谷公民館からのお知らせ

TEL049-251-1129



「はじめてのスマホ教室」

参加費無料

初心者の方のためのスマホ講座です。お気軽にご参加いただけます。

とき/4月10日(水) ①午前の部 ②午後の部
時間/①午前10時~12時 ②午後1時30分~3時30分

講師/スマホアドバイザー(SoftBankより派遣)

内容/①初めてのスマホ体験
②触って体験スマホの基本とLINE体験

定員/①・②それぞれ10名(先着順)

申込期間/①・②とも、3月25日(月)午前9時~4月5日(金)午後5時



令和6年度水谷学級

令和5年度水谷学級では、多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

令和6年度も5月より受付開始予定です。詳細につきましては、順次公開致しますので、ポスター、公民館だより5月号、ホームページをご確認ください。



子育てサロン

参加費無料

① おはなし会

絵本の読み聞かせや手遊びを楽しもう!

協力/読み聞かせボランティア『あいあい』
とき/4月10日(水)午前10時30分~午前11時
定員/親子8組(申込順)
申込/3月25日(月)午前9時~4月5日(金)午後5時
右のコードより、お申し込みください。→

0歳から参加
できます!



② 親子フレンドパーク

参加費無料

工作や体操、紙芝居などを親子で楽しみましょう!
子育て相談や仲間づくりなど、お気軽にご参加ください。

とき/4月16日(火)午前10時30分~11時30分
定員/親子5組(申込順)
申込/3月25日(月)午前9時~4月10日(水)午後5時
右のコードより、お申し込みください。→

今月の内容は
順次公開します!
お楽しみに!



第33回 ふじみヘルシーウォーク大会

子どもから大人まで幅広く参加できるよう、健脚コース(約10km)とファミリーコース(約5km)の2コースを設定しています。参加者全員に参加賞をプレゼント。歩数当てクイズ・お楽しみ抽選会もあります。

とき/令和6年5月12日(日)午前8時30分~(受付7:30~)

参加費/大人500円、中学生以下100円

申込/事前申込(4月9日~5月6日)または当日受付

問い合わせ/文化・スポーツ振興課

Tel 049-252-7139(直通)

詳細はホームページをご覧ください。→



公民館の利用について

【令和6年7月の予約の流れ】

内容	日にち
①抽選申込期間	4月15日(月)~30日(火)
②コンピューターによる自動抽選	5月1日(水)
③抽選結果の確認	5月1日(水)~6日(月)
④窓口受付開始	5月7日(火)
⑤インターネット仮予約受付	5月8日(水)

※休館日 令和6年4月15日(月) 第3月曜日

水谷地区の人口(令和6年2月29日現在)

水谷地域の人口 34,470人(+41人) 世帯数 17,472(+33)

()内の数字は前月比



編集委員
大槻 節子

小学6年生の時に地方紙で詩を取り上げてもらいました。その時『作家になる』夢を見つけました。出版社への就職希望は遂げられませんでした。機会があれば投稿したり、子育て期は広報委員を担当したり。今は公民館だよりの編集委員です。今も夢は夢のままです。満開の桜の根元には、目立ちませんが射干(しゃが)の花たちも咲いています。少しづつ書き溜めていくノートを開きながら、70を過ぎた今もなお、射干の花を咲かせたく夢に向かっていきます。

編集委員のつぶやき

寺下商店街の入り口から入って間もなく「フー ドショップイシカワ」があります。店頭には、野菜や果物が所せましと並んでいます。八百屋さんと思っただけ大間違い!日常品なども取りそろえている寺下のデパート(笑)です。経営者の石川さんは、この地に店を構えて50年。朝4時半の起床!浦和中央青果市場へ仕入れに出発します。石川さんの頭の中は青果や果物だけでなく、来店したお客さまの「〇〇があったらいいな」という情報が常にインプットされていて、仕入れの品も多種多様。遠方のスーパーなどに行けない高齢のお客さまの要望に添えています。市場から帰ると開店の準備です。シルバーカー

お客様に寄り添う「イシカワ商店」

編集委員(取材) 佐々木 真理子
柴田 妙子



来店された高齢のお客様には、お話を聞いて商品を揃え対応。買い物はヘルパーさんに頼めば、という声も聞きますが、やはり自分の目で見て商品を買いたい高齢者の皆さんはたくさんいらっしゃいます。営業時間は午前10時から午後7時まで。しかしいつも来店されるお客さまには店を開けて待っています。寺下商店街はシャッター商店街化していますが、数件の店舗は頑張って営業しています。石川さんは後継者不足に悩んでいました。「お店を閉じてしまうのは簡単ですけどね、地域の皆さんの笑顔が見られるのがとても嬉しくて、しばらくはお店を続けますよ」とおっしゃっていました。空き店舗を活用して行政が何かアクションを起こしてくれることも期待しています。私たちが地域の活性化のために、そして街づくりのために何か考



石川 清さん